



令和2年(2020年)7月8日付け札幌市告示第3814号別表の一部取消について、下記のとおり告示する。

令和2年(2020年)8月3日

札幌市長 秋元 克広



記

1 取消する内容

札幌市告示第3814号別表の工事番号「20(下)第0122号」工事名「防災・安全交付金事業 新川融雪槽ほか機械設備増設工事」を取消(入札の中止)とする。なお、令和2年8月4日付けで設計図書の内容を変更することなく本工事を再告示する予定のため、ご留意願います。

2 中止理由

設計図書に対する質問の回答内容に不備があったため。

3 設計図書に対する質問についての正しい回答

別紙のとおり

4 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話011-211-2442

入札説明書・案件内容に対する質問内容および回答内容

調達案件番号 2003012211
調達案件名称 防災・安全交付金事業 新川融雪槽ほか機械設備増設工事
入札方式 制限付一般競争入札

管理番号 000001 投稿日時 2020/07/27 15:29:52
回答日時

差出人

宛先

題名

質問事項

質問事項

添付資料表示

1) 告示別表 16 支払限度額 令和2年度 4.71% とありますが、現場工事は予定されていますか。

2) 融雪水送水ポンプについて、具体的なフライホイール仕様が明示されていることから、札幌市様の計画段階において水撃作用検討が完了しており、請負者に対してはその詳細情報が開示されるものと考えてよろしいでしょうか。

回答

別紙のとおり

登録

戻る

質問項目

- 1) 告示別表 16 支払限度額 令和2年度 4.71% とありますが、現場工事は予定されていますか。

- 2) 融雪水送水ポンプについて、具体的なフライホイール仕様が明示されていることから、札幌市様の計画段階において水撃作用検討が完了しており、請負者に対してはその詳細情報が開示されるものと考えてよろしいでしょうか。

- 3) 特記仕様書 P4 第2章 第3節 1. 工程関係(2) 制限される施工内容、施工時期、施工方法について、別途土工工事、電気設備工事との調整が必要な工事との記載があります。土工工事所掌である導水管 φ800 DCIP 及び取水ゲート操作台コンクリート基礎は、機械設備工事所掌である取水ゲート据付を行う際に調整する箇所と考えます。設計段階で想定されていた処理水槽清掃時期及び導水管取付及び取水ゲート操作台コンクリート基礎が完了する時期をご教示お願いいたします。また、融雪施設についても先行して建築工事を施工し、後に機械設備工事が施工となると考えます。設計段階で想定されていた機械設備工事が施工可能であろう時期をご教示お願いいたします。

- 4) 特記仕様書 P3 第2章第1節 対象項目 排水清掃作業の処理水槽について、洗浄水は場内処理水の使用は出来ますでしょうか。また、洗浄污水についての排水先はどちらになりますでしょうか。

- 5) 特記仕様書 P18 第4章 § 10 融雪槽送水ポンプ改造及び § 11 散気装置風量計の改造について、施工時期は受注者の施工工程に委ね、施工時期に指定はないものとして考えてよろしいでしょうか。

1) 告示別表 16 支払限度額 令和2年度 4.71% とありますが、現場工事は予定されていますか。

回答

1) 令和2年度の融雪槽稼働の冬期間（12月～3月）が終わってからの工事を想定しています。よって、今年度の出来高としては機器等の搬入を予定しています。

2) 融雪水送水ポンプについて、具体的なフライホイール仕様が明示されていることから、札幌市様の計画段階において水撃作用検討が完了しており、請負者に対してはその詳細情報が開示されるものと考えてよろしいでしょうか。

回答

2) 水撃作用の検討は設計段階で行っており請負後に提示します。施工に当たっては、プラントシステム設計検討を行ってから、機器単体の設計確認をお願いします。

3) 特記仕様書 P4 第2章 第3節 1. 工程関係 (2) 制限される施工内容、施工時期、施工方法について、別途土建工事、電気設備工事との調整が必要な工事との記載があります。土建工事所掌である導水管 φ800 DCIP 及び取水ゲート操作台コンクリート基礎は、機械設備工事所掌である取水ゲート据付を行う際に調整する箇所と考えます。設計段階で想定されていた処理水槽清掃時期及び導水管取付及び取水ゲート操作台コンクリート基礎が完了する時期をご教示お願いいたします。また、融雪施設についても先行して建築工事を施工し、後に機械設備工事が施工となると考えます。設計段階で想定されていた機械設備工事が施工可能であろう時期をご教示お願いいたします。

回答

3) 令和2年度融雪槽稼働の冬期間（12月～3月）が終わってからの工事を想定しています。よって、処理水槽清掃は4月頃行い、導水管取付及びゲートコンクリート基礎工事はそれ以降を想定しています。

4) 特記仕様書 P3 第2章第1節 対象項目 排水清掃作業の処理水槽について、洗浄水は場内処理水の使用は出来ますでしょうか。また、洗浄汚水についての排水先はどちらになりますでしょうか。

回答

4) 特記仕様書 P2 第2章第1節の表内に「○施設内排水設備（無償）」になっていますので場内洗浄水と排水ポンプを無償で使用できます。

5) 特記仕様書 P18 第4章 § 10 融雪槽送水ポンプ改造及び § 11 散気装置風量計の改造について、施工時期は受注者の施工工程に委ね、施工時期に指定はないものとして考えてよろしいでしょうか。

回答

5) 令和2年度融雪槽稼働の冬期間（12月～3月）内は改造工事が出来ませんのでそれ以降となります。

入札説明書・案件内容に対する質問内容および回答内容

調達案件番号 2003012211
調達案件名称 防災・安全交付金事業 新川融雪槽ほか機械設備増設工事
入札方式 制限付一般競争入札

管理番号 000002 投稿日時 2020/07/27 17:39:41
回答日時

差出人

宛先

題名 工事について

[添付資料表示](#)

質問事項

質問の回答をお願いします。

回答

別紙のとおり

[登録](#)

[戻る](#)

番号 図面番号 質問事項

1 特記仕様書
P4 調整が必要な工事として、土工事がありますが、工事内容、
施工範囲等をお教え下さい。

2 特記仕様書
P4 試運転時に行う融雪能力の確認に関し、融雪能力の基準および
確認方法等をお教え下さい。

3 特記仕様書
P15, 16 散気装置(1)と散気装置(2)は、機器設計標準仕様書適用が参考とし
て第8章第1節 §1となっていますが、準拠する項目をお教え下さい。

4 図面
4/28 取水ゲート手摺の材質は、アルミニウム製でよろしいでしょ
うか。

5 図面
13, 24/28 噴射ノズル装置用ポンプ用チェーンブロックレールの
移設は、チェーンブロックと走行レールと考えてよろしいでしょうか。その場合、チェ
ーンブロックの仕様および走行レールの仕様をお教え下さい。

6 図面
18/28 噴射ノズル装置用ポンプは、図面の表記から着脱装置付と考え
てよろしいでしょうか。

7 図面
3/28 新設の制水扉据付部分は土木工事範疇になっていますが、開口
周りの仕上げによっては制水扉のアンカーボルトとの干渉する懸念がありますので、補強
筋等の配筋状況を教えてください。また槽内は内面防水の有無とゲートモルタルの仕上げ
についてお教えてください。

8 図面
4/28 手摺を制水扉基礎及びA矢視付近の階段に取り付けますが、階
段や基礎が別施工のため配筋や構造が不明なため、配筋への干渉が確認できません。仕上
げのモルタル仕上げの有無や構造をお教えてください。

9 図面
5/28 新規制水扉2門のA-A断面図において、制水扉下端に各1つづつ
横長方形が記載されていますが、何を示しているのでしょうか。泥溜かとも思いましたが
B-B断面図に記載が無いのでわかりませんのでお教えてください。

10 図面
8/28 移設・再使用するルーズフランジですが、ルーズ部分のパッキ
ンは仕様や数量が記載されていないため、再利用でしょうか。

11 特記仕様書

P8~11 融雪槽送水ポンプ吐出弁、手動弁、逆止弁はフランジ規格が7.5Kと記載してありますが、ポンプや既設配管のフランジ規格が記載されておりません。フランジ規格をお教えてください。

12 図面
7.8/28 既設はポンプ周りの配管にスラストブロックが無いようですが、新設でも必要はないですか。

13 図面
15/28 噴射ノズル装置用ポンプの機械基礎は土木基礎、或いは鋼材基礎のどちらでしょうか。

14 特記仕様書
P9 融雪槽送水ポンプ吐出弁の特別付属品に、ポテンシヨメータ（R/I変換器）と開度制御装置（電子式ポジショナー）が共に「有」となっています。ポテンシヨメータと電子式ポジショナーで開度信号を送受信しています。電子式ポジショナーがR/I変換器の役割を果たしますので、R/I変換器は不要と考えてよろしいでしょうか。

回答

- 1 土木工事の内容は、屋外の導水管・送水管の増設、排水管の敷設替え等が主な工事になります。
建築工事の内容は、融雪槽の投雪口を2口から4口に増設、操作室の改修工事等が主な工事になります。
- 2 融雪能力は、9000 m³/日を計画しており、試運転時は実際に雪を投雪して能力確認することになります。
- 3 散気装置 (1) (2) の準拠する項目ですが、標準仕様書第8章第1節§1 1-3 (2) 散気板ホルダーの項目にある所が該当します。その内容は (3) ライザー管の材質と (4) ライザー管用元バルブの材質等が記載されています。
- 4 アルミニウム製でよろしいです。
- 5 チェーンブロックと走行レールと考えてよろしいです。
チェーンブロックの仕様は、0.5t 手動吊上げトロリー式です。
走行レールの仕様は、I ビーム 200×100×7/10 です。
- 6 着脱装置付です。
- 7 土木の開口補強は、リング筋を計画しており、アンカーボルトと干渉しないように考えていますが、請負後に協議することになります。
また、槽内に内面防水は施しておりません。ゲートのモルタル仕上げは、無収縮モルタルです。
- 8 手摺の設置はあと施工アンカーとしており、配筋等の構造について請負後に協議することになります。基礎仕上げのモルタル仕上げはありません。
- 9 横長方形の記載は、壁の補修モルタルを表しています。
- 10 再使用ルーズフランジパッキンは、現物を確認し新品に交換をお願いします。
- 11 既設ポンプや既設配管のフランジ規格は7.5Kとなります。

- 12 新設においても、不平均力を検討して配管架台を計画してください。
- 13 噴射ノズル装置用ポンプの機械基礎は、鋼製基礎となります。
- 14 装置の組み合わせにより機能が満たされれば独立した変換器は必要ありません。

以上